

大分県立病院を受診される患者さんへ

当院倫理委員会において、下記の治療法が承認されました。この治療法については、医師の説明のうえ患者さんから口頭で同意をいただき実施いたします。なお、病院ホームページに情報を公開することで、同意書をいただく代わりとしています。

この治療法にご質問がある場合や、同意されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。もし同意されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

| | |
|---------|---|
| 医療の内容 | LEED療法 (自家末梢血幹細胞移植前の大量化学療法) |
| 対象者 | 当院で治療を受ける患者で、65-70歳以下で自家移植の適応のある難治性悪性リンパ腫患者 |
| 承認日 | 2024年10月2日 |
| 対象期間 | 承認後から永続的に使用 |
| 概要 | <p>【目的・意義】</p> <p>悪性リンパ腫に対する自家末梢血幹細胞移植の前処置として、高用量のシクロホスファミド、エトポシド、メルファラン、デキサメサゾンを投与します。エトポシドの大量投与は保険適応となっていないませんが、本邦において多くの施設で実施されており、有効性・安全性が確認されています。当科においても適格と考えられる症例に対して実施しています。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>大量の抗がん剤投与を行いますので、血球減少や消化器症状などの副作用が強くなりますが、無菌室を使用して感染症の予防および治療を行い、輸血療法、高カロリー輸液などの細やかな支持療法を行うことにより対応します。</p> |
| お問い合わせ先 | 主治医 もしくは 大分県立病院薬剤部 代表 097-546-7111 |